

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成26年7月24日(2014.7.24)

【公開番号】特開2013-204734(P2013-204734A)

【公開日】平成25年10月7日(2013.10.7)

【年通号数】公開・登録公報2013-055

【出願番号】特願2012-75554(P2012-75554)

【国際特許分類】

F 16 L 59/06 (2006.01)

F 25 D 23/06 (2006.01)

【F I】

F 16 L 59/06

F 25 D 23/06 V

F 25 D 23/06 W

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月6日(2014.6.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

シート状の纖維集合体を複数積層して形成された芯材を包装材に収めて減圧し、該包装材を密封して構成された真空断熱材において、

前記芯材と共に封入されており、当該芯材の折り曲げの曲率に応じて生じる前記包装材の弛みによるシワを抑制する包装長さ調整体を備えていることを特徴とする真空断熱材。

【請求項2】

シート状の纖維集合体を複数積層して形成された芯材を包装材に収めて減圧し、該包装材を密封して構成された折り曲げ自在な真空断熱材において、

折り曲げ部の幅方向に沿って少なくとも1本の棒状の包装長さ調整体を備えていることを特徴とする真空断熱材。

【請求項3】

前記包装長さ調整体は、前記芯材の幅とほぼ同じ幅を有し、断面形状が半円弧状の棒状部を少なくとも1つ備えていることを特徴とする請求項1又は2記載の真空断熱材。

【請求項4】

前記棒状部の半円弧状の周方向の長さは、前記芯材の折り曲げの曲率に応じて生じる前記包装材の弛みの長さとなるように調整されていることを特徴とする請求項3記載の真空断熱材。

【請求項5】

前記棒状部の両端には、前記包装材の両端より内側に傾斜する傾斜部が形成されていることを特徴とする請求項3又は4記載の真空断熱材。

【請求項6】

前記芯材は、減圧包装後の厚さが3mm以下であることを特徴とする請求項1～5の何れか一項に記載の真空断熱材。

【請求項7】

前面に開口を有する断熱箱体と、

前記断熱箱体の底壁の後部に設けられた機械室と、

前記断熱箱体のうち前記機械室と庫内とを仕切る断熱箱体の形状に沿って折り曲げられた請求項 1 ~ 6 の何れか一項に記載の真空断熱材とを備えたことを特徴とする冷蔵庫。